



ともに立ち、向かう  
**岐阜協立大学**  
GIFU KYORITSU UNIVERSITY

## CONTENTS

特集	2
2020(令和2)年度 学校法人大垣総合学園決算報告	4
表紙のひと	6
Zoom UP 協大生	6
Close-up OB	6
キャリア支援課だより	7
キャリア支援の現場から	7
News&トピックス	8
お知らせ	8
教職員人事	8

特集

## 第3期認証評価を受審して

石坂信一郎

副学長

— 学生募集・入試担当 —

(経営学部教授)

# GKU Now

2022.1 Vol.102



本学は、2020年度に公益財団法人 日本高等教育評価機構による大学評価（認証評価）を受審し、「大学評価基準に適合している」と認定されました。認定期間は、2020年4月1日から2027年3月31日までの7年間です。

大学評価は、書面審査のあと2～3日間の実地調査を経て、その結果を基に日本高等教育評価機構の理事会で審議決定され、文部科学大臣に報告されます。日本では、大学や学部を作るときに国が定めた基準を満たしているか厳しく審査されます。その後、その基準が守られているか、研究・教育が適切に行われているかを加盟大学が相互に評価する仕組みとして認証評価があります。

本学では、教育自己評価活動や自己点検評価書の作成などを学内で毎年実施していますが、この活動だけでは自己満足に終わってしまう恐れがあります。そのため、大学等の教職員が、自分の所属大学以外の大学を評価しあい、大学等の研究・教育の質の向上と改善を相互にはかっているのです。

審査を受けるにあたり、本学教職員が1年以上前から準備をして、多くの資料を提供しました。さらにコロナ禍の影響により、実地調査がオンライン開催となったため、学内施設紹介の映像制作や、オンライン調査のための学内設備の準備が必要になりました。オンライン実地

調査中に問題が生じないか何度も検討・確認を重ね、トラブルなくオンライン調査を終えることができました。

実地調査では、委員の方から、教職員インタビューを通して書面だけでは伝わらない本学の良さを伝えていただくことができましたし、「優れた点」（右頁の一覧表）として11項目が高く評価されました。

日本高等教育評価機構では、毎年、評価充実協議会を開催し、評価の質を高めています。第3期の評価基準では新規基準として「内部質保証」の取り組みを重要視しています。昨年度受審した大学の中から、大学管理面と教学面での内部質保証について、それぞれ1校ずつ報告することとなり、本学が教学面での事例報告をする機会を得ました。2021年7月に期間限定でオンデマンド配信された、本学竹内学長の発表映像は、239校、延べ約1,000人の他大学の教職員の方に視聴されました。

また、今後も教育・研究のさらなる質の向上を目指して、「優れた点」と評価された点についても点検・評価活動を継続し、質の向上に努めてまいります。



評価充実協議会で発表する竹内治彦学長



オンライン実地調査の様子

認証評価結果について、より詳しい情報は公式ホームページをご覧ください。

<https://www.gku.ac.jp/about/outline/appraisal.html>





## 大学の『認証評価制度』とは

すべての大学は、学校教育法に基づき、教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備の総合的な状況について、文部科学省から認証を受けた評価機関による『認証評価』を一定期間ごとに受けることが義務付けられています。この制度は2004年から始まりました。

本学では、制度が始まった第1期の2006年度に認証評価を受け、2020年度に3回目となる第3期の認証評価を受けた結果、2021年3月16日に、「日本高等教育評価機構が定める大学評価基準に適合している。」と認定されました。

## 『認証評価』で大学は何を評価されるの？

文部科学省が定める評価基準に基づいて評価されます。

- ① 大学評価基準が学校教育法や大学設置基準などの法令に適合していること
- ② 大学評価基準に大学の特色ある教育研究の進展に資する項目が定められていること
- ③ 大学評価基準に次の10項目が含まれていること

①教育研究上の基本組織、②教員組織、③教育課程、④施設及び設備、⑤事務組織、⑥三つの方針（卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針）、⑦教育研究活動等の状況に係る情報の公表、⑧教育研究活動等の改善を継続的に行う仕組み（内部質保証）、⑨財務、⑩その他教育研究活動等

## 第3期『認証評価』の結果

今回の認証評価では、「優れた点」として11項目が高く評価されました。

「優れた点」として評価を受けたおもな事項（一部抜粋）

<b>基準1</b> 使命・目的等	「公設民営」の大学の特色を生かし、「地域に有為の人材を養成する」という教育目的に基づき、地域の保健・医療ニーズに対応できる人材育成のための看護学部を開設するなど、地域社会からの理解を得るために各種施策を実践している点は評価できる。
<b>基準2</b> 学生	1年次から、キャリア形成科目を教育課程内に正課として取り組み、社会人としての必要なコミュニケーション能力、問題発見・解決能力などの社会人基礎力、そして就職のための「就職力」を育成している点は評価できる。
<b>基準3</b> 教育課程	学修成果の点検・評価を目的としたアンケートの結果を踏まえ学内限定のホームページ上でのレポート提出と学生が教員からフィードバックを受ける仕組みを構築している点は、教育方法・学修指導方法の改善という面から評価できる。
<b>基準4</b> 教員・職員	2017年度に他大学と協定を締結し、毎年度開催する夏期研修プログラムに相互に職員を派遣している取り組みは評価できる。
<b>基準5</b> 経営・管理と財務	監査法人と理事との意見交換の機会を設けて、経営全般やリスク管理・監査計画等についてコミュニケーションの促進を図っていることは優れた取り組みとして評価できる。
<b>基準6</b> 内部質保証	「教育研究推進懇談会議」を開催し、地元の企業や高等学校の関係者等の多様な意見を聞きとり工夫するなど、内部質保証の推進のための自主的・積極的な取り組みを行っている点は評価できる。

# 2020 (令和2) 年度 決算報告

## 財務の概要

学校法人大垣総合学園の財務の概要についてご報告いたします。

資金収支計算書において翌年度への繰越支払資金は39億7,992万円となり、前年度の繰越支払資金より1億3,064万円増加しました。

事業活動収支計算書では、事業活動収入計から事業活動支出計を差し引いた単年度の事業活動収支差額は3億3,334万円の支出超過となり、翌年度繰越収支差額は32億1,632万円の支出超過となりました。

### (1) 資金収支計算書

「資金収支計算書」は、当該会計年度(4月1日～翌年3月31日)の諸活動に対応するすべての資金(現金の出入り)の動きを表したものです。

#### ① 収入の部

〔学生生徒等納付金収入〕 22億8,669万円

授業料、入学金、実習料、教材費及び教育充実資金の収入です。学費納付者数の増により7,364万円の増収となりました。

〔寄付金収入〕 1,770万円

後援会組織からの助成金等を受入れました。

〔補助金収入〕 4億416万円

国庫補助金のうち、私立大学等経常費補助金は2億9,843万円となりました。

〔資産売却収入〕 3億2,500万円

有価証券の満期償還及び早期償還による売却収入3億2,500万円です。

〔付随事業・収益事業収入〕 1,378万円

受託事業数の減により減収となりました。

〔受取利息・配当金収入〕 917万円

定期預金、有価証券運用利金等の受取利息収入です。

〔雑収入〕 5,409万円

私立大学退職金財団からの退職金交付金額及び施設設備利用料が主な収入です。

〔前受金収入〕 6億4,839万円

2020年度末の入学手続き納付金です。入学手続きの減により1,706万円減収となりました。

〔その他の収入〕 2億3,250万円

コロナ禍における学修環境整備支援金等の原資として、減価償却引当特定資産5,000万円を取り崩しました。その他、前年度退職者の退職金交付額及び前年度受託事業費の未収入金等5,624万円及び周辺会計(後援会等)における年度末残高を受け入れたことが主な内容です。

#### ② 支出の部

〔人件費〕 16億497万円

専任教職員等の給与及び退職者への退職金支出等です。

〔教育研究経費支出〕 8億5,409万円

学生への奨学事業(学費減免、私費留学生奨学金等)、課外活動助成事業(強化・準強化指定クラブ合宿費、遠征費)、学部学科運営費が主な支出で8億5,409万円となりました。コロナ禍により全体的な経費削減がされていますが、授業料等減免奨学金8,680万円(国庫補助金収入あり)、学修環境整備支援金2,594万円、喫食支援1,387万円が主な増額要因です。

〔管理経費支出〕 2億4,559万円

コロナ禍により、受験雑誌やWeb媒体による広報活動にシフトすることで広告費が6,319万円となりましたが、全体として562万円の減少となりました。

〔施設関係支出〕 995万円

岐阜協立大学のガス供給設備を更新しました。

〔設備関係支出〕 1,881万円

岐阜協立大学の8201教室授業収録システム設置や課外活動等備品等を購入しました。

〔資産運用支出〕 3億2,500万円

満期償還及び早期償還のあった有価証券3億2,500万円を減価償却引当特定資産に積み立てました。

### 資金収支計算書

2020(令和2)年4月1日～2021(令和3)年3月31日まで

(単位:千円)

収入の部			
科 目	2020年度	2019年度	差 異
学生生徒等納付金収入	2,286,694	2,213,054	73,639
手数料収入	36,989	39,323	△ 2,333
寄付金収入	17,704	26,397	△ 8,693
補助金収入	404,166	373,277	30,889
資産売却収入	325,000	200,000	125,000
付随事業・収益事業収入	13,785	24,830	△ 11,044
受取利息・配当金収入	9,173	11,953	△ 2,779
雑収入	54,095	59,286	△ 5,191
前受金収入	648,394	665,463	△ 17,069
その他の収入	232,506	307,998	△ 75,491
資金収入調整勘定	△ 731,291	△ 698,939	△ 32,352
当年度収入の部小計	3,297,218	3,222,644	74,573
前年度繰越支払資金	3,849,284	3,777,406	71,878
収入の部合計	7,146,502	7,000,051	146,451
支出の部			
科 目	2020年度	2019年度	差 異
人件費支出	1,604,971	1,595,312	9,658
教育研究経費支出	854,098	768,402	85,696
管理経費支出	245,591	251,212	△ 5,621
施設関係支出	9,952	17,950	△ 7,998
設備関係支出	18,816	86,645	△ 67,829
資産運用支出	325,000	320,000	5,000
その他の支出	163,750	171,137	△ 7,387
資金支出調整勘定	△ 55,606	△ 59,894	4,287
当年度支出の部小計	3,166,574	3,150,766	15,807
翌年度繰越支払資金	3,979,928	3,849,284	130,643
支出の部合計	7,146,502	7,000,051	146,451

※上記の表の金額は千円未満を切り捨てている為、合計など金額が一致しない場合があります。

### (2) 事業活動収支計算書

「事業活動収支計算書」は、資金の移動を伴わないもの(現金の出入りの他に消費していくもの)として、減価償却額や退職給与引当金繰入額などを計上し、当該会計年度の事業活動収入及び事業活動支出の均衡状態を表したもので、学校法人の経営状況を示し企業会計の「損益計算書」にあたるものです。

また、教育活動収支、教育活動外収支、特別収支の3つの区分会計を導入し、学校法人の経常的活動、臨時的活動に分けて収支を明らかにしています。

さらに、学校法人は安定的かつ持続性保持のために基本金組入額という企業会計とは異なる処理をしています。基本金は、将来校舎等の再取得に必要な基金として積み立てることを目的としているため、当該年度の収支差額から控除したうえで収支バランスをみるというのが学校法人会計の特徴です。

事業活動収支計算書の収支科目の多くが資金収支計算書の収支科目と共通していますので、事業活動収支計算書固有の内容について主なものを説明します。

#### ① 収入

事業活動収入計は、学校法人の負債(返済義務のない収入)とならない収入のことです。従って、資金収支計算書の収入から資金の動きだけを

示す「前受金収入」、「その他の収入」、「資金収入調整勘定」等は除かれます。

〔資産売却差額〕 147万円

満期償還を迎えた有価証券の売却差額(購入価額と売却価額の差)を計上しています。

〔その他の特別収入〕 542万円

科学研究費補助金による物品の取得及び団体・個人から寄贈された図書等を現物寄付として、また、大学ガス供給設備更新に係る災害時の燃料備蓄推進事業費補助金を施設設備補助金として計上しました。

### 事業活動収支計算書

2020(令和2)年4月1日～2021(令和3)年3月31日まで (単位:千円)

科 目	2020年度	2019年度	差 異	
教育活動収支	学生生徒等納付金	2,286,694	2,213,054	73,639
	手数料	36,989	39,323	△ 2,333
	寄付金	17,952	32,335	△ 14,383
	経常費等補助金	402,216	373,277	28,939
	付随事業収入	13,785	24,830	△ 11,044
	雑収入	54,166	59,413	△ 5,246
	教育活動収入計	2,811,804	2,742,234	69,569
	人件費	1,601,487	1,592,843	8,644
	教育研究経費	1,240,761	1,161,958	78,803
	(内減価償却額)	385,614	386,846	△ 1,232
	管理経費	314,632	313,538	1,093
	(内減価償却額)	68,404	63,317	5,087
	教育活動支出計	3,156,882	3,068,340	88,542
教育活動収支差額	△ 345,078	△ 326,106	△ 18,972	
科 目	2020年度	2019年度	差 異	
外収支	受取利息・配当金	9,173	11,953	△ 2,779
	教育活動外収入計	9,173	11,953	△ 2,779
	教育活動外収支差額	9,173	11,953	△ 2,779
経常収支差額	△ 335,904	△ 314,152	△ 21,751	
科 目	2020年度	2019年度	差 異	
特別収支	資産売却差額	1,477	0	1,477
	その他の特別収入	5,428	4,418	1,009
	特別収入計	6,906	4,418	2,487
	資産処分差額	4,342	11,351	△ 7,008
	その他の特別支出	0	0	0
	特別支出計	4,342	11,351	△ 7,008
特別収支差額	2,563	△ 6,933	9,496	
基本金組入前当年度収支差額	△ 333,341	△ 321,085	△ 12,255	
基本金組入額合計	△ 21,658	△ 35,982	14,323	
当年度収支差額	△ 354,999	△ 357,068	2,068	
前年度繰越収支差額	△ 2,861,326	△ 2,504,258	△ 357,068	
基本金取崩額	0	0	0	
翌年度繰越収支差額	△ 3,216,326	△ 2,861,326	△ 354,999	

(参考)

事業活動収入計	2,827,883	2,758,606	69,277
事業活動支出計	3,161,224	3,079,691	81,533

※上記の表の金額は千円未満を切り捨てている為、合計など金額が一致しない場合があります。

### ②支出

事業活動支出計は、資金収支計算書の資本的支出にあたる「施設関係支出」、「設備関係支出」の代わりに「教育研究経費」及び「管理経費」に減価償却額を加算し、資金の流れだけを表す「その他の支出」等は除かれます。減価償却額は、建物や機器備品などの固定資産の当期償却額を計上しています。

〔資産処分差額〕 434万円

土地の寄贈、教育研究用機器の更新及び早期償還による有価証券の処分差額(購入価額と売却価額の差)等を計上しています。

### ③基本金

〔基本金組入額〕

第1号基本金は、構築物(ガス供給設備)、教育研究用機器、管理事務システム及び図書を取得した結果、2,165万円の組入れとなりました。

### (3)貸借対照表

「貸借対照表」は年度末における資産、負債及び基本金等の状況を表したものです。

資産の部の合計は、175億6,611万円となり、前年度末に比べて3億4,070万円減(△1.9%)、負債の部の合計は、13億2,272万円となり、前年度末に比べて736万円減(△0.5%)、純資産の部は、162億4,338万円となり、前年度比3億3,334万円(△2.0%)の減少となりました。

貸借対照表 2021(令和3)年3月31日

(単位:千円)

資産の部			
科 目	2020年度	2019年度	増 減
固定資産	13,511,544	13,986,110	△ 474,565
有形固定資産	9,022,687	9,438,101	△ 415,413
特定資産	3,895,849	3,620,849	275,000
その他の固定資産	593,007	927,159	△ 334,151
流動資産	4,054,567	3,920,711	133,856
資産の部合計	17,566,111	17,906,821	△ 340,709
負債の部			
科 目	2020年度	2019年度	増 減
固定負債	468,814	476,236	△ 7,421
流動負債	853,912	853,858	53
負債の部合計	1,322,726	1,330,095	△ 7,368
純資産の部			
科 目	2020年度	2019年度	増 減
基本金	19,459,711	19,438,052	21,658
第1号基本金	19,055,711	19,034,052	21,658
第3号基本金	200,000	200,000	0
第4号基本金	204,000	204,000	0
繰越収支差額	△ 3,216,326	△ 2,861,326	△ 354,999
翌年度繰越収支差額	△ 3,216,326	△ 2,861,326	△ 354,999
純資産の部合計	16,243,385	16,576,726	△ 333,341
負債及び純資産の部合計	17,566,111	17,906,821	△ 340,709

※上記の表の金額は千円未満を切り捨てている為、合計など金額が一致しない場合があります。

正味財産	16,243,385	16,576,726	△ 333,341
------	------------	------------	-----------

より詳しい財務情報は学校法人  
大垣総合学園ホームページをご覧ください。

<https://osg.gku.ac.jp/index.html>



## 表紙のひと



石坂 信一郎 副学長

### 副学長の自己紹介をお願いしますー

本学では学生募集・入学試験担当の副学長を務めています。本学の魅力を発信し、多くの方に本学に関心を持っていただくこと、入学試験を公正に行うことを主な任務としています。私は北海道出身で本学に来て約10年になり、大垣に家族と住んでいます。

### 先生の研究テーマについて教えてくださいー

非営利組織の財務報告と税務について、先進諸国における制度や国際会計基準(IPSAS)等を検討し、それらの比較を通じて、非営利組織の財務報告の本質や税務のあり方について明らかにすることを研究しています。

わが国をみると、公的部門のあり方が問われる中で、公的部門のある部分を法人化(行政補完団体化もしくは民営化)することがあり、官民連携方式(PPP)による公共サービスの提供の増加もあります。また、私的部門の非営利組織である公益法人や特定非営利活動法人(NPO法人)の増加、さらには社会的企業とよばれる中間的な組織の台頭もあります。このように経済社会における非営利組織の重要性は高まりを見せており、公的部門と私的部門、営利組織と非営利組織の役割の違いが曖昧になりつつある中で、上記のような研究を行うことには、非営利組織の発展のための貢献があると考えています。

### 最後に学生に向けてメッセージをお願いしますー

大学の4年間は、色々な意味で成長できる場です。人は、青年期に様々な経験をすることによって何がしか成長するものですが、皆さんはより意識的に、これからの社会を生き抜いていく力を身に着けたいと大学に進学されたことと思います。大学では、講義、演習、部活動、ボランティア活動、仲間とのかかわりなどを通じて多面的な成長が可能であって、単に知を伝えるばかりでなく、世代を超えた新しい出会いによる異種混交の化学変化が新しい知を生み出す場があります。是非、大学での人との出会いを大切に、学生生活を思い切り楽しみ、充実したものにしてほしいと願っています。

本学は「成長が目に見える大学」として、どのような力が大学での学びによって伸びたのかを可視化する仕組みを構築しつつあります。学生一人ひとりの可能性を伸ばせるよう支援できる大学でありたいと考えています。

## Zoom Up 協大生

経済学部公共政策学科3年 桑原 佑成さん  
(岐阜県 岐阜総合学園高校出身)



### 本学公共政策学科で 何を専門的に学んでいますかー

私は、公共政策を中心に地方行政、まちづくりのしくみについて専門的に学んでいます。もともと将来、行政職

の仕事に携わりたいと考えており、この大学に進学を決めました。講義では、地域社会の課題の発見から解決策までを仲間や先生とともに議論しあっています。また、PAC支援室など公務員に関する講義も豊富で充実しているので積極的に学習しています。

### 和太鼓部を紹介してくださいー

私たち和太鼓部は、男子3名、女子4名で活動しています。昨年の4月から創設されたばかりの部活のため少人数ではありますが、経験者から初心者まで和太鼓のことが好きな学生が集まって練習しています。活動内容としては主に、構内にあるクラブハウスの練習室で、汗だくになりながら楽しく一生懸命練習に励んでいます。

新型コロナウイルスの影響により、外部で演奏を行う機会はありませんが、大学内のイベントや、地域のイベント・小学校でのボランティア演奏など、幅広く

和太鼓の演奏を通して地域に貢献出来ればと考えています。

### これから進学を考える高校生へ メッセージをお願いしますー

大学進学は、自分自身の選択範囲が増え、自由に行えること、新しいことに挑戦することが可能になります。大学では講義の他にもクラブ活動、アルバイト、趣味など、物事に真剣に取り組めば取り組むほどその経験は自分自身の力となり就職活動やこれからの人生に必ず活かすことができるはずです。

岐阜協立大学では学生生活はもちろん、学外の活動や個人の取り組みなどといった自主的な活動にも教職員の方が全力でサポートしてくれます。大学進学も一つの大きな選択であり、経験だと私は思うのでたくさん悩んで自分のやりたいことに全力で頑張してほしいと思います。

## Close-up OB

「世界ろう野球選手権大会」日本代表 主将/森 豊さん  
(2006年度 経営情報学科(現情報メディア学科)卒)  
(滋賀県 近江高校出身)



### 自己紹介と大学時代の思い出を教えてくださいー

大学時代はとにかく野球に打ち込んでいました。野球部先輩、同期、後輩に恵まれ、投手としてリーグ戦で沢山の経験をしました。2005年秋季岐阜リーグベストナイン投手を受賞。2006年秋季岐阜リーグでは準優勝、敢闘賞を受賞し、東海地区大学野球岐阜選抜に選出していただきました。野球部の活動において、私のわがままにも理解を示していただき温かく指導

いただいた塚田監督、渡瀬コーチには感謝しかありません。今でも人生の大切な時間です。

### ろう野球とはどのような競技なのかを 教えてくださいー

選手は皆、聴覚障がい者です。聴力の軽重が様々で手話が第一言語の人、手話が出来ない人も居ます。世界大会では補聴器、人工内耳の装着が禁止されているので、全選手は同一条件のもと、人工内耳や補聴器を外し「音の無い状態」でプレーします。そのため、手話ジェスチャー等で選手同士の連携を取っています。また4年に1度、世界規模で行われる聴覚障がい者のための総合スポーツ競技大会デフリンピックへの硬式野球を採用してもらうための活動もしています。

2020年台湾において世界初となる硬式ろう野球の国際大会が開催されます。私は日本代表に選出され初代主将を務めることになりました。



### 本学で学んだことで、社会に出られてから現在に 至るまでに役立っていると思われることは何ですかー

大学の授業では、先生の声が聞こえず分からない事があるので友達にノートテイクをお願いしながら必死で学んだことを覚えています。大学生生活では多くの学生との繋がりを大切にし、野球部の活動を通して、人への思いやり、忍耐力、感謝する心を学びました。社会に出てから様々な困難や壁にぶつかりましたが、何とか乗り越えられたのは、大学でたくさんの先生や先輩方に指導していただき、感謝や思いを伝える事の大切さを学べたからだだと思います。

### 在学生・高校生に向けて 一言メッセージをお願いしますー

現在コロナ禍でなかなか思うように活動、生活が出来ず悩んでいる方が多いのではないのでしょうか。将来の希望や未来が見つけれないと言う方も多いと思います。自分なりにチャレンジしたり新たな扉を見つけ一歩踏み出して欲しいと思います。諦めない心とチャレンジ精神を持って学生生活を悔いのないよう頑張ってください。皆さんの未来を応援しています。

## キャリア支援課だより

### 内定者報告



**内定先** セブン工業株式会社

経済学部経済学科 竹中海人 さん  
(岐阜県 岐阜農林高校出身)

就職活動で変わったわたし

コミュニケーションの伸長を  
実感できた就職活動

#### 就職活動での自己成長を 教えてください。

就職活動で最も伸びた能力はコミュニケーションの力です。企業から内定をいただくためには、面接・面談などの過程があり、必ず年上の社会人とコミュニケーションをとらなければなりません。しかも、そこでのコミュニケーションは、大学の先生やアルバイト先などのプライベートとは違って、ただ会話すればいいというものではなく、会話の中で自分の強みややりたいこと、会社に対する熱意をアピールしなければなりません。難しいようですが、この能力は、就職活動を行っていくうちに誰でも自然と身につくものと考えます。きっと内定をいただく頃には、就職活動前よりもコミュニケーション能力が誰しも向上するでしょう。

#### 就職活動を控えた後輩への メッセージ

就職活動で最も重要なのは「企業研究」だと考えます。私は筆記試験対策や、面接練習も頑張りましたが、企業研究に最も力を入れました。志望動機を考える際に役立ったばかりでなく、面接時に返答に迷うことがなく対応できましたし、企業への質問もスムーズにできました。また、企業研究のために有価証券報告書などを読むことは大学の学びが役に立ったと思います。有価証券報告書を読んでいただくことは企業からの評価も高かったです。自己分析や筆記試験対策も必要ですが、ぜひ企業研究も力を入れてください。



**内定先** トリオシステムプランズ株式会社

経営学部情報メディア学科 折口未幸 さん  
(滋賀県 虎姫高校出身)

就職活動で変わったわたし

思い・考えを自分なりの言葉で  
伝えられる自分になった

#### 就職活動での自己成長を 教えてください。

就職活動を行うまで面接を経験したことがなかったので、最初は上手く話すことさえできず、とてもではないですが内定獲得にはほど遠かったと思います。自己PRや学生時代に力を入れたことについての文章を覚えたものの、本番で頭が真っ白になり、言葉に詰まってしまったり、聞かれた質問に対して正確な回答ができなかったりと、面接が終わった後は後悔ばかりしていました。自分の思うこと、考えることを言葉にするのが得意ではなかった私でしたが、何度も面接を受ける中で、初対面の人に自分の思い・考えを適切に言葉で伝えることができるようになったことが自分の成長です。

#### 就職活動の工夫を教えてください。

私は飽き性なので、将来何十年と仕事をしていく上で、どの職種が続けられそうか、仕事内容を調べることに最も時間を割きました。その結果、企業説明会もIT業界だけに絞りました。理由は、興味を持ってなかった分野の仕事に就いたとしても続けられる自信がなかったからです。私の就職活動を振り返ると、進むべき職種や業界を決断することが重要だったと思います。また、モチベーションを維持するために就職活動中は趣味の時間をしっかり取ることが重要だと感じました。へこむことも多いので、好きなことで次に頑張るための原動力にしていました。



**合格** 大垣市役所

経済学部公共政策学科 田中雄大 さん  
(愛知県 豊田南高校出身)

就職活動で変わったわたし

どんな場面でも思いや考えを  
表現できる自分になった

#### 就職活動での自己成長を 教えてください。

就職活動を通して、緊張する場面が多々ありましたが、そのような場面でも自分の考えをしっかりと表現できる自分になりました。

就職活動当初は、面接試験においては、万全の準備をして臨んだものの、いざ本番になると、なかなか自分の思いや考えを伝えることができず、合格することができませんでした。そこで、うまく表現できなかった原因を、家族や友人にも相談しながら分析し、改善に努めました。そして、就職活動を通して、1つずつできることを増やしていった結果、自身の成長につながるとともに、志望先から合格をいただくことができました。

#### 大学での学びをどの様に 就職活動に活かしましたか。

公務員志望だった私は、憲法や民法、ミクロ経済学など公務員試験の勉強に大学の学びを活かすことができるよう、特に教養・専門科目の講義を積極的に受講し、勉学に努めました。また、海外インターンシップや語学留学、パンフレットの作成に携わるなど、広い視野をもってさまざまな活動に積極的に挑戦する中で、行動力や向上心を持って前向きに取り組む姿勢を身に付けることができました。このような大学での学びを通して身に付けた力を、公務員試験での筆記試験や、面接試験の自己PRなどで自信をもって伝えることなどで活かすことができました。



**内定先** 株式会社アスコ

経営学部スポーツ経営学科 鈴木啓太 さん  
(北海道 北見緑陵高校出身)

就職活動で変わったわたし

自信をもってアピールできる  
自分の価値を見つけられた

#### 就職活動での自己成長を 教えてください。

就職活動を終えて振り返ると、「やるべき事の優先順位づけ」と「学ぶ姿勢」に大きな成長があったと感じています。

就職活動は、短期間でやるべきことが多く、学業とサッカー部の活動の両立も必要になりました。私は優先順位の高い就職活動に費やす時間を増やすため、部活動を3か月休止しました。その結果、時間が増えたばかりでなく、できる事の質も向上させることができました。

私の学ぶ姿勢は、受け身でしたが、就職活動準備の一環で取り組んだ自分自身の価値の探求(オンライン・サッカースクールの実践)を通じて、主体的に学ぶことの楽しさを知ることができました。

#### 自分自身の成長のきっかけ

コロナ禍は、就職活動を控えた私に大きな課題を突きつけました。「自分が自信をもってアピールできる価値はあるのだろうか」ということです。ここから「コロナ禍に負けない自立したスキルを身につけたい」と考えました。

実際に取り組んだ事は、高校生対象のオンライン・サッカースクールです。SNSマーケティングの手法を用い、強豪校に所属しているものの現状に満足していない高校生などが参加してくれました。嬉しかったことは、アドバイスした高校生が翌週の試合で初めてゴールを決めた報告を受けたことです。この経験で得られた自信をもって、就職活動に臨むことができました。

## キャリア支援の現場から

### ジョブシャドウイングプログラム

キャリア形成授業を受講する1年生を対象に、ジョブシャドウイングを8月4日から6日の3日間、業界を組み合わせた4コースで実施し、経済学部・経営学部在籍する27名の1年次生が参加しました。「ジョブシャドウイング」は米国で定着している職業教育の一つで、半日程度、企業に赴いて職場での仕事ぶりを観察する、というものです。まだまだ大学生活も半年が経過した時期で、社会人となり業界や会社を選ぶという意識は薄いものの、企業を訪問して社内の雰囲気の違いや、身近にある商品の製造工程や流通の仕組みを学ぶ機会となりました。企業担当者の方々も高学年向けのインターンシップとは異なる1年次学生向けに配慮いただいた、分かり易いプログラムを考えていただきました。

### 今年度、実施されたジョブシャドウイングプログラム

	体験する業界	企業名
コース1	製造業	(株)ボンフォーム(安八町)
コース2	金融業、卸売業	大垣西濃信用金庫(大垣市)、(株)大光(大垣市)
コース3	卸売業	リコージャパン(株)(岐阜市)、ヒコタ(株)(岐阜市)
コース4	製造業	福田刃物工業(株)(関市)、(株)岩田製作所(関市)

**News & トピックス**

**古田肇岐阜県知事にご登壇いただきました  
(経済学部公共政策特論)**

10月28日(木)、公共政策形成に係る実践的な取り組みについて学ぶことを目的とする公共政策特論において、古田肇岐阜県知事にご登壇いただき、経済学部(経済学科・公共政策学科)の学生54名が聴講しました。講義は、地方分権推進法施行以降の地方分権改革をめぐる様々な流れの紹介からはじまり、必ずしも十分な進展がみられない中で、コロナ後の「新しい日常」を形成する一環として、「新次元の地方分散」という展望が語られました。

また、「新型コロナ対策を巡って」と題し、岐阜県独自のコロナ対策及び対策実施に当たっての国と地方の役割分担についてお話いただきました。目まぐるしい状況変化のなかでの迅速な取り組みについてご紹介いただき、緊迫感のある講義に学生も熱心に耳を傾けました。


**秩父宮賜杯 第53回全日本大学駅伝  
対校選手権大会に駅伝部が  
5年ぶり4度目の出場を果たしました**

11月7日(日)、第53回全日本大学駅伝対校選手権大会が愛知県名古屋～三重県伊勢市(8区間・106.8km)のコースで行われ、駅伝部は2016年以来となる4度目、校名が変わってから初出場を果たしました。今大会には27チームが出場し、本学駅伝部は総合成績21位、5時間38分18秒のタイムでゴールしました。今回、チーム上位10人の実力は歴代で最も高く、大会前、大学の幹部等を前にして主将の大橋光太郎選手(スポーツ経営学科4年)は、「チームの雰囲気はとてよく、最後までたすきをつなげられるよう頑張ります」と意気込みを述べました。午前8時5分に熱田神宮西門前を各校がスタート。関東強豪校の選手によるハイペースな展開に押され、第4中継所で繰り上げスタートとなったものの、選手たちは最後まで粘り強い走りを見せました。


**大学院で職業実践力  
育成プログラム(BP)を開講**

大学院(経営学研究科)では文部科学大臣が認定する制度「職業実践力育成プログラム(BP)」として、「トヨタ生産方式とカイゼンリーダー養成プログラム」を開講しています。このプログラムは、トヨタ生産方式によるカイゼン活動の知見を、短期間で身につけられる社会人対象のプログラムです。

2021年度は第1期として8月から10月の期間で製造業・サービス業のほか、行政機関など多分野から受講生を受け入れ、計11名の社会人が全6セッション141時間のプログラムを修了しました。今回のプログラムも昨年度に引き続き、行政機関、経済団体など多くのみなさまから注目をいただきました。

本学は、個人の実践的な能力・スキルの習得、企業の競争力向上に資するリカレント教育プログラムを展開し、地域社会の発展に貢献しています。

**お知らせ**
**学びラウンジを開設しました**

2021年4月 学生の新しい修学環境「学びラウンジ」を3号館1階に整備しました。

学びラウンジは開放的なオープンスペースではありますが、学生の多様なニーズに応えられるよう、「フリーアドレス・ワーキングゾーン」、「ラーニング・コモンスゾーン」、「自習ゾーン」、「PAC支援室・福祉実習指導室ゾーン」の4つのエリアに分かれています。また、12:00~13:00は喫食スペースとしても開放されています。

写真はPAC支援室による公務員試験2次試験対策のための勉強会の様子です。個別学習からグループワークまで、様々な学習形態のニーズに合わせられる環境を学生に提供しています。


**教職員人事**
**〈配置転換〉2021年4月1日付に追加**

高橋 博美 総務企画課特別専門員(企画広報課特別専門員)  
小川 尚紀 総務企画課専門員(総務課専門員)

**〈配置転換〉2021年6月1日付**

吉田 大介 入試広報課長兼経営企画室長(法人事務局長付を解く)  
堀 有沙 入試広報課主事兼経営企画室主事  
川合 健司 大垣女子短期大学教務・  
入試広報課長兼事務局長補佐兼経営企画室長補佐

**〈配置転換〉2021年7月7日付**

河村 道彦 入試広報課スポーツ指導主事(学生課スポーツ指導主事)  
寺田 亮太 入試広報課スポーツ指導主事(学生課スポーツ指導主事)



大学広報誌「GKU Now」  
公式ホームページで公開中



◀バックナンバーも  
ご覧いただけます。